

## ■idiメッセージ

**鴨井 久一** idi 歯科医療情報推進機構 理事長  
**牧 新一郎** idi 歯科医療情報推進機構 理事

■idi設立20周年記念座談会  
idi 歯科医療情報推進機構  
設立20周年に寄せて

## ■idi認定歯科医師インタビュー

**松本 好史** 医療法人社団 松本歯科医院 (神奈川県)  
**松永 泰典** 医療法人社団 藤弘会 駒込駅前デンタルクリニック (東京都)

# ジーシー昭和薬品は 歯科用局所麻酔薬に関する情報を 提供しています。

## ORA DENTAL TOPICS

- No.29** 歯科用局所麻酔薬の種類と使い分け  
昭和大学歯学部全身管理歯科学講座 歯科麻酔科学部門 教授 飯島 毅彦先生
- No.28** 亜酸化窒素(笑気)吸入鎮静法  
北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学分野 歯科麻酔学教室 教授 藤澤 俊明先生
- No.27** 循環系合併症を有する患者の歯科治療  
徳島大学大学院 医歯薬学研究所 歯科麻酔科学分野 教授 北畑 洋先生
- No.26** 小児患者の緊急対応  
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学講座 准教授 山口 秀紀先生
- No.25** 伝達麻酔なんて怖くない!  
日本歯科大学生命歯学部 歯科麻酔学講座 教授 砂田 勝久先生
- No.24** 世界の歯科局所麻酔事情  
東京歯科大学 歯科麻酔学講座 教授 一戸 達也先生
- No.23** アドレナリン含有リドカイン塩酸塩製剤の併用注意薬を服用する患者への対処  
松本歯科大学歯科麻酔学講座 教授 澁谷 徹先生
- No.22** 抗血栓薬服薬患者の歯科診療室における知的局所麻酔管理  
北海道医療大学歯学部 生体機能・病態学系歯科麻酔科学分野 工藤 勝先生 大桶 華子先生 三浦 美英先生
- No.21** 局所麻酔に起因するトラブルの対処法  
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 麻酔・生体管理学分野 教授 深山 治久先生
- No.20** 歯科治療時の疼痛管理と術後鎮痛  
日本歯科大学 新潟生命歯学部 歯科麻酔学講座 教授 佐野 公人先生
- No.19** 糖尿病と歯科治療  
埼玉医科大学 医学部 臨床医学部門麻酔科 教授 長坂 浩先生
- No.18** 呼吸器疾患を有する患者への対応  
福岡歯科大学 診断・全身管理学講座 麻酔管理学分野 教授 谷口 省吾先生
- No.17** 高齢者に対する歯科用局所麻酔剤の注意点  
神奈川歯科大学 生体管理医学講座 麻酔科学 教授 吉田 和市先生 准教授 有坂 博史先生
- No.16** 妊婦・授乳婦への歯科局所麻酔薬投与について  
愛知学院大学 歯学部 麻酔学講座 金澤 真悠子先生 原田 純先生
- No.15** 局所麻酔の合併症～びらんとう瘍  
鶴見大学 歯学部 歯科麻酔学教室 深山 治久先生
- No.14** 「私は麻酔の注射でアレルギーが出たことがあります…」と、患者が言った。さあ、どうしよう。  
東京歯科大学 歯科麻酔学講座 一戸 達也先生
- No.13** 歯科用リドカインカートリッジに含まれる添加剤について  
神奈川歯科大学 麻酔学教室 教授 吉田 和市先生 講師 有坂 博史先生
- No.12** 合併症を有する患者への対応part.2  
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学教室 教授 澁谷 徹先生
- No.11** 合併症を有する患者への対応part.1  
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学教室 教授 澁谷 徹先生
- No.10** 患者急変時何をすべきか、歯科診療室における初期救急!  
日本歯科大学 新潟歯学部 歯科麻酔学講座 教授 附属病院 歯科麻酔科長 附属病院 障害者歯科センター長 佐野 公人先生
- No.09** 小児歯科医療現場での危機管理  
松本子ども歯科クリニック 院長(福岡県前原市) 九州大学歯学部 臨床助教授 松本 敏秀先生
- No.08** 小児に対する歯科局所麻酔について考える  
日本大学 歯学部 歯科麻酔学教室 見崎 徹先生
- No.07** さらなる安全な局所麻酔薬を求めて  
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学教室 教授 澁谷 徹先生
- No.06** 痛くない局所麻酔  
日本歯科大学 歯学部 歯科麻酔学講座 助教授 附属病院 多目的診療科長 高橋 誠治先生
- No.05** 局所麻酔による全身的偶発症～その予防と処置  
東京女子医科大学 歯科口腔外科 教授 扇内 秀樹先生
- No.04** 局所麻酔による全身的偶発症  
保土ヶ谷歯科医師会 伊藤 洋一先生 金子 守男先生
- No.03** 見直される局所麻酔と将来展望  
日本歯科大学 歯学部 歯科麻酔学教室 高橋 誠治先生
- No.02** 臨床に役立つ局所麻酔の話  
鶴見大学 歯学部 歯科麻酔学教室 野口 いつみ先生
- No.01** 保存治療における注射部位とオーラ注の使用について  
日本大学 歯学部 保存学教室 歯内療法学講座 斎藤 毅先生 塩野 真先生  
拔牙のための局所麻酔法  
昭和大学 歯学部 第一口腔科学教室 道 健一先生 松井 義郎先生

資料請求先

株式会社 ジーシー昭和薬品

TEL:0120-648-914

(受付時間)9:00~17:30(土・日・祝日・弊社休日を除く)

## 歯科用局所麻酔剤

劇薬、処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること)

## オーラ®注歯科用カートリッジ 1.0mL・1.8mL

リドカイン塩酸塩・アドレナリン酒石酸水素塩注射剤

薬価基準収載

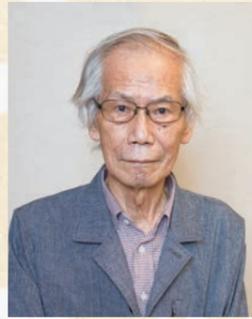
効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元

株式会社 ジーシー昭和薬品

東京都板橋区蓮沼町76番1号

## iDi 理事メッセージ



## 牧 新一郎

Shinichiro Maki

iDi 歯科医療情報推進機構 理事

1964年 旧東京教育大学(現筑波大学)卒  
読売新聞社入社。社会部、北海道支社などを経て、  
生活情報部(現生活部)次長、部長  
医療情報部(現医療部)部長  
編集委員など  
2001年 退社後は、医療法人理事として  
高齢者介護施設の開設、運営にあたる

## 新聞の投稿欄を読んで

私は、新聞社で、主に社会・生活分野の話題を追う取材・執筆活動をしてきた。医療・健康にまつわる問題なども大切なテーマのひとつだが、私自身はもちろん医療の専門家ではない。

ある日、夕刊の紙面をめくっていて「オヤッ」と気になる記事が目に入った。まさに医療・健康のページで「わたしの医見」というネーミングの読者投稿欄だった。

「患者と向き合って」という見出しが付いたT県の75才の主婦の投稿を簡単に紹介する。

〈最近、通院する歯医者を変えた。以前通っていた所では「歯周病の検査をしてほしい」と頼んでも、「僕も歯周病なので心配いりません」と、説明もなかった〉

加えて〈歯科医と歯科衛生士がおしゃべりに夢中で、診察台の上で長く待たされることもあった〉

〈歯の治療を受けることは不安が大きい。歯科医や歯科衛生士には、患者と真剣に向き合って欲しいと思う〉

彼女の投稿はこんな内容である。私の長い経験からいうと、読者の投稿の扱いは難しい。まず、内容の真偽はどうか。何か担がれているのではないか、フェイクではないか。新聞記者の習性からいえば、裏取り取材に走るところだが、それではメディアの投稿欄は成り立たない。読者の良心、良識を信じることに始まる。つまりは信頼関係である。

そこで彼女が訴えている歯科医療の在り方について、もう少し調べてみることにした。

どんな大切な問題があったにしても、患者を診察台の上で長い時間、待たせるなどは論外である。もうひとつはこの歯科医がいった「僕も歯周病なので、心配いりません」という発言だ。これは間違いなく医療における患者説明だ。

歯周病は、そんなに心配ないものなのか。この歯科医は患者を安心させるために、そういったのか。つまり患者のためを思っただけの対応なのか、私は考え込んだ。しかし、少し調べただけで、それは間違った医療対応だと気づいた。

インターネットで厚生労働省や日本臨床歯周病学会などの資料を検索すると、いろいろなことがわかってきた。歯周病は、歯磨きの仕方の悪い人に起こりやすく、喫煙者は非喫煙者の3倍以上も歯周病になりやすい。また、糖尿病の患者も進行しやすく、金属やプラスチック製のかぶせものやつめものと歯の間に段差やすき間があると悪化の原因になる、などなど。近年叫ばれる医科・歯科連携の大切なテーマになることも知った。

やはり投稿者の最初の選択は、間違いだったのだろう。しかし、投稿の最後に彼女が書いた「現在通院している所は、説明も検査もていねいで、安心して任せられる。通うのが楽しみなくらい」という結びの言葉に救われる思いである。

## iDi 理事長メッセージ



## 鴨井 久一

Kyuichi Kamoi

歯学博士、医学博士

iDi 歯科医療情報推進機構 理事長

1979年 日本歯科大学歯周病科教授  
1995年 日本歯科大学付属病院長  
2001年 日本歯科大学大学院長  
2004年 日本歯周病学会理事長  
2005年 日本歯科大学名誉教授  
2006年 ウィーン大学再生医療研究所客員教授  
2010年 カンテンプル歯科大学客員教授  
2013年 瑞宝中綬章受賞

## 「専門馬鹿」といわれたくない

私が日本歯科大学大学院研究科長(1999年～2005年)を務めていた時代のことである。学位授与式の後、修了者のひとりから『専門馬鹿と馬鹿専門 つむじ先生の教育論』(著者:なだいなだ)という本を寄贈された。

当時は雑用にかまけて精読していなかったが、定年退職後に読み返したときに、その彼が私に本を薦めた理由や、私に何を理解して欲しかったのか自分なりの解釈をしてみた。

この本の著者は精神科の医師であり、評論家でもあった。要約すると「専門馬鹿」とは限られた狭い専門分野の事象を深く追求し、試験などでも満点を取る優等生タイプで、大学教授・研究者や学者に多い。

一方、「馬鹿専門」は専門分野の事象を浅く広く理解し、間口を広げてオールラウンドに他人の論説を受け入れ、自分なりに取り入れた知識を臨床や健康雑誌に投稿するなどマスコミの宣伝に寄与している者と指摘されている。

当時、「象牙の塔」といわれた時代の教授や研究者は、自己の信じるままに自分の研究をすれば良かった。

翻って、現在の歯科医療体制を普遍してみると、臨床系教授や研究者は研究の細分化した時代では、自分一人で十分な研究体制が取れるのか、指導ができるのか多くの問題を抱えている。

かつて、臨床系の教授は「臨床」「学生教育」「研究」が3本の柱とされ、日中は外来患者の診療、曜日によっては学生たちへの講義、夜は研究データの整理などに追われていた。従って、社会の動静や情勢に関心があつたとしても、それについて考察したり、資料を検索する余裕もなく、忙しい日々を送ってきたものだ。その意味では、なだいなだ先生のいわれる「専門馬鹿」だったのかもしれない。

今日、大学の制度も大きく変革してきた。国家試験合格を目指す学生教育を主体とする教員、外来患者を主体に診る歯科医師、研究を主体に行なう教員など、各部門での責任が明確にされ、良質な歯科医師の輩出を心がけているといっている。

しかし、大学や歯科医師は、社会への対応は十分とはいえない。たとえば、歯科医療界に対する間違った意見に対しては、いち早く対応する必要がある。

そのような意見に対しては、根拠を明確にして反論すべきであり、声を大きくしないと社会は対応してくれない時代でもある。

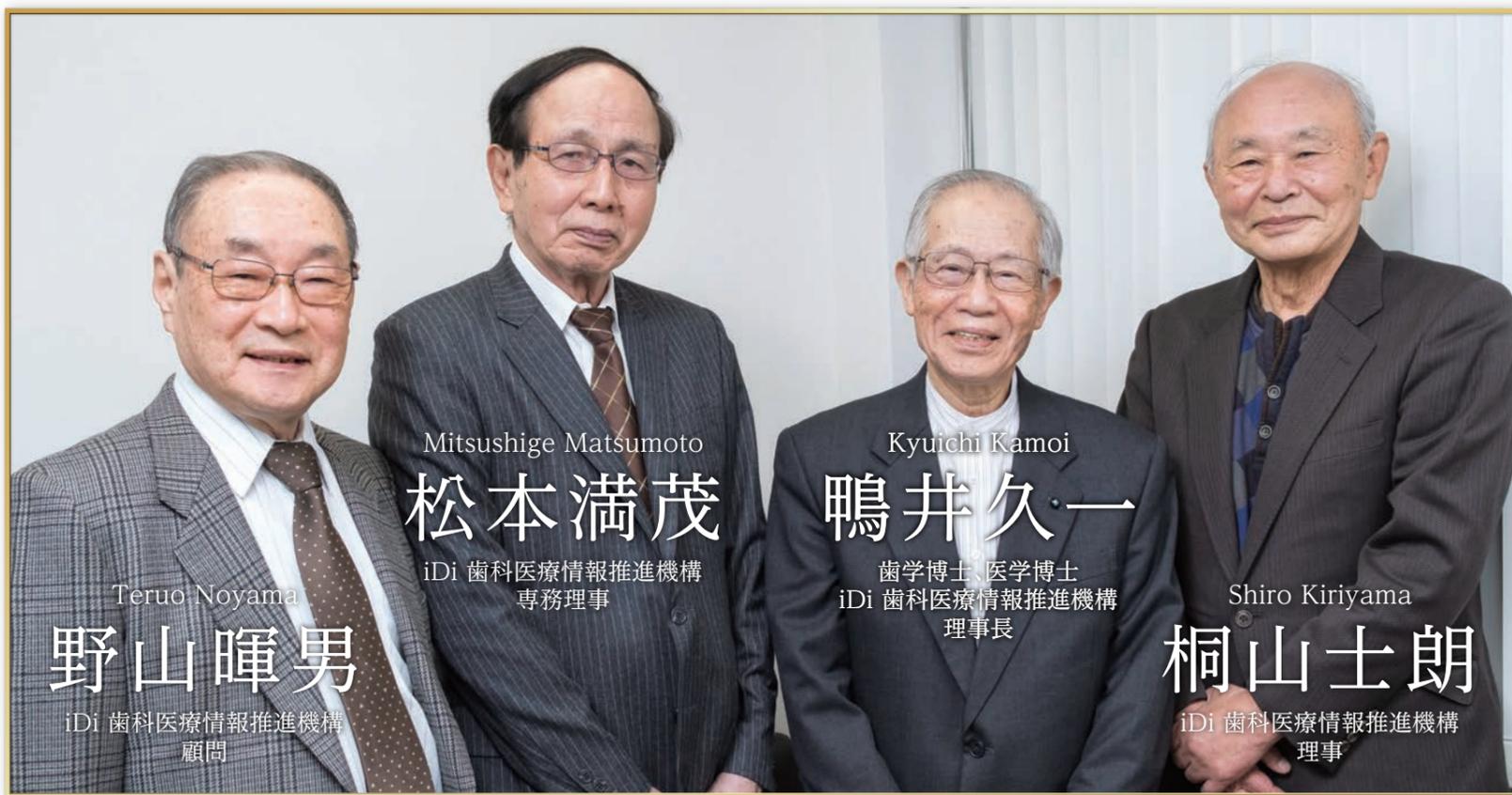
やはり「日本歯科医師会」「日本歯科医師連盟」「日本歯科医学会」をはじめとする各学会が声を大きく上げなければならぬ時代であり、「沈黙は金」の時代はるか昔に遠のいてしまったといえるだろう。

そのためには、普段からの医療政策に関与する「議員」「厚労省」「文科省」の政治家・関係官僚各位と議論・交流の場を積極的に設け、歯科医学、歯科医療の実態を理解してもらうことが必要である。それには過去の歴史、推移を十分に知り、対処していくことが重要だ。現状の問題は過去に震源が必ずあるからである。

2023年、iDi 歯科医療情報推進機構は設立20周年を迎えます。皆様からいただいた長年にわたるご支援に心から感謝と御礼を申し上げます。

iDiでは現在まで、数多くの歯科医院の審査を行ない、広く情報公開すると共に、安全・安心なインプラント治療を受けたいと考える方々に対し、インプラントの安全性を「環境」「技術」「運用」の観点から総合的に評価するISMの認定を行なってまいりました。また、年間多数の講習会や医科歯科連携セミナー、歯科学会などを開催し、会員の知識や技術向上に寄与してまいりました。

そこで、この20年を振り返る座談会を開催し、iDiの果たすべき役割について改めて考えてみたいと思います。



# iDi 歯科医療情報推進機構 設立20周年に寄せて

**iDi設立のきっかけと当時の背景**

**松本** 1995年に財団法人「日本医療機能評価機構」が設立されました。病院など医療機関の第三者評価を行なう機関なんですね。これは率直に素晴らしいことだと感じました。

話ですね。今でもそうですが、日本の医療費の増加を抑えるために、地域格差を減らすなど医療の標準化みたいなものができないのかという意見が財政当局からあり、たとえばこの病気だったらこういう医療が標準的という指針を出すために「評価機構」みたいなのを考えようとなりました。ところが予算が通らなかった。

の厚生省の中に歯科のことを考えている人はいなかった。  
**松本** 何度も話しましたが残念ながら聞く耳を持ってもらえませんでした。だったら、自分たちでつくってしまおうというのが「iDi」を設立したきっかけですね。

**野山** 私か厚生省にいた時代の「日本医療機能評価機構」が設立された。病院など医療機関の第三者評価を行なう機関なんですね。これは率直に素晴らしいことだと感じました。

鴨井 やは「評価」と称すると、医療の質に入り込むわけですから、当然、日本医師会は警戒しますよね。

松本 その桐山さんが集めたメンバーの中に、当時私がやっていた「日本歯科医療研究会」という勉強会の仲間がいます。桐山さんを含めて歯科の問題を様々な議論するようになり、その中で、日本医療機能評価機構の歯科版をつくらうという話が盛り上がりつつありました。

**野山** 私か厚生省にいた時代の「日本医療機能評価機構」が設立された。病院など医療機関の第三者評価を行なう機関なんですね。これは率直に素晴らしいことだと感じました。

野山 ですが、残念ながら当時

者機関として評価を行ない、情報開示していくのは大切なことだと考えていましたので、誰に反対されてもいいと思ってい

**野山** 私か厚生省にいた時代の「日本医療機能評価機構」が設立された。病院など医療機関の第三者評価を行なう機関なんですね。これは率直に素晴らしいことだと感じました。

**野山** 私か厚生省にいた時代の「日本医療機能評価機構」が設立された。病院など医療機関の第三者評価を行なう機関なんですね。これは率直に素晴らしいことだと感じました。

野山 私か厚生省にいた時代の「日本医療機能評価機構」が設立された。病院など医療機関の第三者評価を行なう機関なんですね。これは率直に素晴らしいことだと感じました。

**野山** 私か厚生省にいた時代の「日本医療機能評価機構」が設立された。病院など医療機関の第三者評価を行なう機関なんですね。これは率直に素晴らしいことだと感じました。

野山 私か厚生省にいた時代の「日本医療機能評価機構」が設立された。病院など医療機関の第三者評価を行なう機関なんですね。これは率直に素晴らしいことだと感じました。

野山 私か厚生省にいた時代の「日本医療機能評価機構」が設立された。病院など医療機関の第三者評価を行なう機関なんですね。これは率直に素晴らしいことだと感じました。

した。  
**桐山** 1998年に「特定非営利活動促進法」が成立しまして機運も高まりました。  
**松本** そして、2003年にNPO法人として「歯科医療総合評価研究機構」を設立しました。色々な方に理事になっていただき、理事長は元厚生大臣の藤本孝雄氏にお願いすることになりました。

**野山** 医科も歯科も同じ医療機関ですから、同じものをベースに

野山 医科も歯科も同じ医療機関ですから、同じものをベースに

野山 私か厚生省にいた時代の「日本医療機能評価機構」が設立された。病院など医療機関の第三者評価を行なう機関なんですね。これは率直に素晴らしいことだと感じました。

野山 私か厚生省にいた時代の「日本医療機能評価機構」が設立された。病院など医療機関の第三者評価を行なう機関なんですね。これは率直に素晴らしいことだと感じました。

iDiの講習会が  
一番良いと  
評価されるまでに成長

**桐山** もともと提言を行なって  
いたメンバーや、松本先生の勉強  
会の方々もおりましたので、勉  
強会や学術講演会も自然と行な  
うようになりましたね。

**松本** 現在も年1回開催してい  
る「iDi-歯科学会」や「医科歯  
科連携」のセミナーなどを開催  
し、多くの方々に参加してい  
だいてきました。

**野山** 医科歯科連携のセミナー  
は、厚労省が後援の名義を出し  
てくれるまでになりました。

**鴨井** 識者や有名な先生方をお  
招きし講演を行なっていた。そ  
そのノウハウが現在の講習会に  
も大いに活かされています。

**松本** 診療報酬の改定で「外来  
環」などの講習会に参加して認  
定を受けることで加算点数が得  
られることになりました。

**鴨井** ですが、その講習会は日  
本歯科医師会が中心でした。歯  
科医師会に加入していないと、歯  
科医師会主催の講習会を受けら  
なかった。

場の先生たちは当時、院内感染  
に対してそこまで意識が高くな  
かった。

**鴨井** iDiではもともと評価  
基準として衛生管理の項目が大  
きなファクターを占めていまし  
たし、外来環や歯初診の講習を  
通じて感染症対策についてもコ  
ロナ禍の前から徹底してやって  
いましたからね。

**松本** 私は厚労省に、感染や衛  
生管理ほど大事なことはないの  
に、1回講習会に参加したら一  
生有効なんてあり得ないとい  
いました。すると担当者は納得し  
てくれたようで、2020年の  
診療報酬改定で、4年に1回の  
受講が必須と変更されました。  
私は厚労省のことはあまり褒め  
ないのですが、この改定に関して  
は褒めましたね(笑)。

**鴨井** その改定もあって、4年の  
間、つまり2022年9月まで  
に再受講しなければならなくな  
りました。

**桐山** 当然、受講者が増えると思  
っていましたが、コロナ禍にな  
ってしまいました。

**松本** 厚労省がオンラインの受

れません。保険協会が主催す  
る講習会もありましたが開催は  
年1回。たまたま受けられなかつ  
た方は1年待たなければいけな  
かった。

**松本** そんな方々の受け皿に  
なるべく、2013年からiD  
iが主催する講習会をスター  
トさせました。最初は「外来環」  
でした。保険局に行くと、担  
当の人のうちがやりますから  
と話したらOKが出ました。そ

ここで、年5回とか6回、東京・大  
阪・福岡で開催するようにしま  
した。

**野山** でも、厚生局のブロックに  
よっては「iDiの講習会を受け  
ても修了と認めない」とどんな内  
容で誰がやっている?と。です  
が、講習内容を録画したDVD  
を見せたら、何もいわなくなり  
ました(笑)。

**松本** iDiでは講師によって  
内容に差が出ないよう全国で共

講でも認めてくれるようにな  
り、オンラインとのハイブリッド  
で講習会をはじめました。こう  
いってはよくないですが、オンラ  
インになったことで受講者は増  
えましたね。

**鴨井** 地方の方も多く参加して  
くれるようになりました。オン  
ラインでのウェビナーやミーティ  
ングは今では一般的になりまし  
たし、今後、コロナ禍が完全に収  
束しても、オンライン講習会は

続くでしょうね。  
**桐山** やはり参加者にとっては  
楽ですからね(笑)。

**松本** 今年は講習会を大阪含  
め5回開催します。さらに歯科  
学会と医科歯科連携のセミ  
ナーもあります。今年の医科歯  
科連携のセミナーは6月25日  
(日)ですが、医科の先生にも  
講師をお願いします。是非、多  
くの方々に参加して欲しいで  
すね。



Mitsushige Matsumoto



Kyuichi Kamoi

# iDi 歯科医療 情報推進機構 設立20周年に寄せて



Shiro Kiriya



Teruo Noyama

通となるテキストも独自につく  
りましたし、1科目で2時間近  
く時間を取って、非常に濃い内  
容でやっていましたからね。ほ  
かは下手すれば30分とかで終わ  
ります(笑)。

**野山** 余計なトラブルを防ぐた  
めに、全国の厚生局8ブロック  
すべてに挨拶に行きました。う  
ちがつくったテキストや資料を  
持って、このような内容で講習  
会をやっています。講習会を受

けた人の修了証書はこちらです  
ので、「承認ください」と。  
**鴨井** 野山さんのおかげでク  
レームはいっさいなくなりました。  
それどころか、今ではiDi  
の講習会が内容的にも一番良い  
と評価されています。

**野山** 2016年には「か強診」  
の制度を厚労省がスタートさせ  
ました。それに伴って、講習会の  
開催件数も増えていきました。

**松本** 2018年は14回も全国  
を回りました。東京・大阪・福岡  
はもちろん、札幌、仙台、名古屋  
、岡山、鹿児島、沖縄県までやって  
いました。

**桐山** ISMを含めた認定制度  
のほかに、iDiの大きな基盤  
となりましたね。

**鴨井** ちょうどその頃、歯科医  
院の院内感染の問題が大きく  
取り上げられることがあって、  
うちのホームページがパンクし  
ました。一般の方々からの「ど  
この医院に行けばいいのでしょ  
うか」などの問い合わせも多かつ  
たですね。

**松本** 機能評価が大事というの  
は再認識しましたね。しかし、現

**桐山** このコロナ禍で世の中は  
大きく変わりました。歯科医院  
や、病院という医の世界でも大  
変な経営局面を抱えています。  
今後、歯科を含めた医療に関す  
るバックグラウンドのシステム  
をどのように整備・構築してい  
くかが大きな課題です。iDi  
ができること、提言できること  
をしっかりと考えて活動してい  
きたいと思えます。

**松本** 今、厚労省が健康寿命の  
延伸について「フレイル」「栄養」  
「口腔ケア」の3つが重要だと  
いっています。これは歯科の重要  
性が高まると高まるということ  
です。歯科の重要性を高め、歯科  
の活躍する場を広げるために  
も、ますます努力していこうと  
思っています。

**鴨井** 今までの歯科というと、  
どうしても虫歯とか歯周病に限  
定されていましたが、今後は、口  
を消化器官のひとつと捉え、口  
腸相関ということを歯科医師が  
認識し、腸内環境を整え、免疫を  
高めるためにも、その入り口で  
ある口腔が重要であると大きく  
アピールしていきたいですね。

**野山** この高齢社会に対して、今  
までのように虫歯予防とかだけ  
ではなく、誤嚥性肺炎とかやらな  
ければならないことはたくさん  
あります。様々な問題を抱える現  
状を、特に現場の方々に理解して  
いただき、その問題解決に向かっ  
て取り組んでいきたいですね。

2023年、  
そして、これからの  
iDiの役割

講でも認めてくれるようにな  
り、オンラインとのハイブリッド  
で講習会をはじめました。こう  
いってはよくないですが、オンラ  
インになったことで受講者は増  
えましたね。

横須賀市歯科医師会は今年で創立100周年を迎える。その歴史の中で4期8年も会長職を務めたのは非常に珍しいことだ。「コロナ禍だったこともあり、会長職を延長せざるを得ませんでした。しかし、歯科医師会の活動に取り組めたのも、弟がいてくれたからです。兄弟でやっていた本



現在でも最先端治療と言われる「セレック」を、まだ開発準備段階や実験レベルだった1979年に海外の論文で知り、最先端機器に大きな興味を持った松本氏は、2010年に第3世代のモデルを早々と導入。より強度の高い「e-max」を使用し、審美性と耐久性を兼ね備えたセラミック治療を行なっている。

### 地元・横須賀を愛し 地域ならではの歯科医療を実践

iDi認定歯科医師インタビュー

## 歯科医師として、 歯科医師会会長として 地域医療に貢献

医療法人社団  
松本歯科医院  
院長  
歯学博士

# 松本好史

「横須賀から出たことはありません」と語る、神奈川県横須賀市・松本歯科医院の松本好史氏。同氏は幼稚園から大学まですべての時期を横須賀で過ごし、そして歯科医院を開業した。同氏の弟も全く同じ道を歩み、兄弟で地域に根差した歯科医療を実践している。歯科医師として、そして横須賀歯科医師会の会長として地域に貢献し続けてきた同氏の信念に迫る。



一般社団法人 横須賀市歯科医師会 会長  
日本歯科保存学会会員  
神奈川県立大学特任教授  
デンタルコンセプト21 会員(DC21)

横須賀市で松本歯科医院を営む松本好史氏は、地元で生まれ、40年以上にわたり地域に根差した歯科医療を実践してきた。

「父は、脱サラして食堂とかサウナを経営していました。ですから子どもの頃より、お盆休みも、正月休みもない家庭でしたね」

同氏は進学先として神奈川県立大学を両親から薦められた。定期

的な休みがあり、地域に貢献できる歯科医師なら、食堂やサウナを継ぐよりいいのではと言われたそうだ。

「しかし、一番の理由は家から近かったということですね(笑)。歯科医師になってからは、実家のあったこの場所を歯科医院に改装しましたので、生まれた時から今まで、横須賀から出たことがありません。横須賀を本心に愛していますね」

松本歯科医院の開業は198

### 早くから最先端機器と 最先端の衛生管理を導入

松本歯科医院は地域に根差しているが、その歯科医療も最先端である。たとえばコンピュータ制御により歯の修復物を設計・製作するCAD・CAMシステムの「セレック」に関して、最初に触れたのは非常に早い時期だった。

「1978年に卒業したのち、大学の保存修復学講座に2年間在籍しましたが、論文抄読会があり、1979年にセレックの論文を取り上げました。当時はアメリカでようやくパソコンが出はじめた頃です。私も、まだ若かったです。そのような先端技術にわくわくした思い出がありますね」

同氏は、2010年にラスベガ



古くから徹底した衛生管理を行ってきた同院では消毒室を設け、高圧蒸気滅菌器の「VACUKLAV 31B+」や「MELA quick 12+」、洗浄消毒装置の「MELAtherm 10」などの機器を導入して、世界レベルの衛生環境を確立している。



9台のユニットが並ぶ同院。松本氏は弟や次女と共に3名の歯科医師、歯科衛生士8名で「一般歯科」「小児歯科」「義歯」「インプラント」「セラミック治療」「ホワイトニング」など、地域に根差しながら、最先端の歯科医療を提供している。

1年。そして弟も副院長として共に治療に当たっている。

「弟とは幼稚園から小・中・高・大学、そして職場も一緒ということになります。よく、兄弟で同じ大学を出て、同じ場所で歯科医師をしているというのは珍しいって言われますね。さらに、私の次女も歯科医師として週1回来ていますので、家族ですと横須賀に根付いて歯科医院をやっていることになりませう」

40年以上も地域に貢献してきた同氏は、横須賀ならではの事情により、近年新たな取り組みをはじめている。

「記念式典を訪れ、その進化を目の当たりにし、第3世代となるシステムを採り入れた。さらに、数値でカリエスの進行状況などを診査・診断するシステムの「ダイアグノデントペン」や「マイクロスコープ」「レーザー治療器」などの最新機器を次々と導入していった。

しかし、同氏が最先端だったのは「機器だけではない。欧米の規格をクリアするレベルの衛生環境を実現するため、「最先端の衛生管理」にも取り組んできた。

「古くから消毒室を設け、患者様ごとのタービンの交換もやって

「横須賀というのは坂や階段が非常に多い街です。開業当初の40年前に治療した当時40代だった患者さんも、現在は80歳を越しており、来院するのが難しい方が多くなってきました。ですので近年は訪問診療にも力を入れています。道が狭いので軽自動車を買って、ポータブルの治療器具を導入して、高齢の方々の自宅を訪問しています」

しかし、軽自動車でも行かれない場所も多く、階段を100段以上のぼって、ようやく訪問先に辿り着くこともあるそう。

「やはり地域の方々を大切に

いましたし、一度に12本のハンドピースを滅菌できるメラクイックなども入れています。滅菌専用のスタッフも3名おります。衛生管理への設備投資や専門スタッフの人件費などは、保険や国が面倒みしてくれるわけではないですが、それでも投資するのは歯科医院の経営者としては当然のこと。徹底した衛生への意識がなければ医療ではないと思っています」

その衛生への意識の高さがiDへの加入を決めた理由でもあったと同氏は語る。

「衛生などへの機能評価というのは素晴らしいと思いました。私が昔から取り組んでいたことですし、加入は当然のことでした。また歯科医師としても講習会などに出る、色々と目を開かせていただきました。地元の歯科医師会の活動でも、それがかなり役に立っています」

同氏は、今年8年務めてきた歯科医師会の会長職を退任する。これからは、より良い歯科医療に取り組んで行きたいと語る。

「もともとセレックなどの最先端機器は好きでしたが、会長だっ

たこともあり、何かと忙しくて最新の技術を学ぶ機会が少なくなっていました。退任後は新しいデジタル機器や技術を勉強して、さらに患者様のお役に立ちたいと考えています」

同氏は40年以上も地域に根差した歯科医療に取り組み、地元である横須賀市の歯科医師会会長として様々な活動を患者の身になって実践。そして、横須賀ならではの地域医療や訪問診療を通じて、地域の方々の健康維持や増進に寄与し続けてきた。同氏はこれからも、横須賀・三浦半島で歯科医師として地域に、そして多くの患者に貢献していくだろう。



生まれ育った自宅を改装して1981年に松本歯科医院を開業。地域に根差した医療を行ない続け、40年以上も通う患者さんも多い。坂や階段が多い地域のため、通うのが難しくなった高齢者のため、訪問診療も積極的にこなしている。

医療法人社団 松本歯科医院

神奈川県横須賀市大津町3-33-15

046-836-2341

http://matsumoto-dentalclinic.com/

「最新の設備は、この水周りのシステムにはじまり、根管治療に使用するマイクロスコップやデジタルCT、ワンガイドシステムなどひと通りは揃っています。ですが最近、歯科技術の発達と同時に、流行り廃りがもの凄く早くなっ



歯科用のデジタルCTも備え、専用の手術室でのインプラント治療や、ブラチナスタータスに認定されたインビザラインなど様々な最先端治療にも対応している。



医療法人社団 藤弘会には「歯科技工所」も2019年に設けられた。歯科技工士8人により3つの医院だけでなく、他の医院の技工物も製作している。グループ内に技工所があることで、患者や歯科医師の要望に沿った精度の高い技工物がスピーディにつくられる。これも同氏の新しいチャレンジのひとつである。

### 4つの理念を守り続け 様々なニーズに応える治療を实践

「小学2年生の頃、過剰歯があったことから矯正を受け、綺麗に直して貰いました。まさに生活の質が向上したのです。それが歯科医を目標と想ったきっかけです」

「歯科には様々なニーズがあります。その多様な患者さんの悩みに応えたいと考え、色々な分野に対応している歯科医院に勤務することにしました」

「歯科には様々なニーズがあります。その多様な患者さんの悩みに応えたいと考え、色々な分野に対応している歯科医院に勤務することにしました」

「歯科には様々なニーズがあります。その多様な患者さんの悩みに応えたいと考え、色々な分野に対応している歯科医院に勤務することにしました」

「歯科には様々なニーズがあります。その多様な患者さんの悩みに応えたいと考え、色々な分野に対応している歯科医院に勤務することにしました」

「患者さんの様々なニーズにお応えするために、医院を新たに立ち上げました。また、歯科医師も増えてきましたので、任せられる仕事の幅を広げるという意味もあります」

「患者さんの様々なニーズにお応えするために、医院を新たに立ち上げました。また、歯科医師も増えてきましたので、任せられる仕事の幅を広げるという意味もあります」

「患者さんの様々なニーズにお応えするために、医院を新たに立ち上げました。また、歯科医師も増えてきましたので、任せられる仕事の幅を広げるという意味もあります」

「患者さんの様々なニーズにお応えするために、医院を新たに立ち上げました。また、歯科医師も増えてきましたので、任せられる仕事の幅を広げるという意味もあります」

「最新の設備は、この水周りのシステムにはじまり、根管治療に使用するマイクロスコップやデジタルCT、ワンガイドシステムなどひと通りは揃っています。ですが最近、歯科技術の発達と同時に、流行り廃りがもの凄く早くなっ

「最新の設備は、この水周りのシステムにはじまり、根管治療に使用するマイクロスコップやデジタルCT、ワンガイドシステムなどひと通りは揃っています。ですが最近、歯科技術の発達と同時に、流行り廃りがもの凄く早くなっ

「最新の設備は、この水周りのシステムにはじまり、根管治療に使用するマイクロスコップやデジタルCT、ワンガイドシステムなどひと通りは揃っています。ですが最近、歯科技術の発達と同時に、流行り廃りがもの凄く早くなっ

「最新の設備は、この水周りのシステムにはじまり、根管治療に使用するマイクロスコップやデジタルCT、ワンガイドシステムなどひと通りは揃っています。ですが最近、歯科技術の発達と同時に、流行り廃りがもの凄く早くなっ



明るく清潔な院内では、開業前に大がかりな水道の配管工事を行ない、配管内のフッ素加工や、次亜塩素酸水生成システムによる衛生的な歯科治療水が使われている。むし歯や歯周病、小児歯科、審美歯科など様々なニーズに高いクオリティで応えている。

iDi認定歯科医師インタビュー

## 自らも大学院で 学び続け、 後進の指導にも余念が ない真摯な歯科医師

医療法人社団 藤弘会  
駒込駅前デンタルクリニック  
理事長・院長

# 松永泰典

東京都荒川区歯科医師会会長を務め、山手線の「日暮里」「西日暮里」「駒込」の駅前で歯科医院を経営する松永泰典氏。同氏は3つの歯科医院で治療の第一線に立ちながら、後進の教育にも余念がない。自らも大学院の小児発達歯科学講座で学び、本年に歯学博士号を取得することからも、教育の重要性を実感しているのだ。患者の「生活の質」を向上させるというのが歯科医師と語る同氏の情熱に迫る。



AAID アメリカインプラント学会認定医  
東北大学歯学部大学院 小児発達歯科学講座  
ICOI 国際口腔インプラント学会 日本支部 役員・指導医  
IACD 指導医  
ニューヨーク大学 インプラント科研修プログラムリーダー  
日本歯科先端技術研究所(フェロー)



医療法人社団 藤弘会 駒込駅前デンタルクリニック  
東京都豊島区駒込2-15-8 高野ビル1階  
03-6903-4182  
https://www.komagome-station-dental.com/

# iDi研修会のご案内

**歯援診 か強診 在宅療養支援歯科診療に関する総合的研修会**  
**外来環 歯初診 歯科医療安全に関する総合的研修会**

■会場：御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター1階 東京都千代田区神田駿河台 4-6

■会場/オンライン開催 新型コロナウイルス感染症対策のため、本研修会は現地開催、及びオンライン配信のハイブリッドWEB方式で開催します。

**2023 5/14日**

講師:高橋 一也 大阪歯科大学 高齢者歯科学講座 教授  
 講師:福田 謙一 東京歯科大学 口腔健康科学講座 教授  
 講師:泉福 英信 日本大学 松戸歯学部 感染免疫学講座 教授

①在宅療養支援歯科診療に関する総合的研修会 10:00~12:00 (受付開始 9:30~) 12:00~  
 ②歯科医療安全に関する総合的研修会 13:00~14:30 (外来環のみ受講 受付開始 12:30~) 14:30~  
 ③歯科医療安全に関する総合的研修会 14:50~16:20 (歯初診のみ受講 受付開始 14:30~) 16:20~

■参加費用 (会場/オンライン共)	歯援診(か強診を含む)	外来環と歯初診	外来環のみ	歯初診のみ
	一般(会員以外)	30,000円	30,000円	20,000円
iDi/ISM 認定会員	5,000円	5,000円	3,000円	3,000円

※災害や講師急病等やむを得ない事情で中止となった場合、参加費の全額返還、もしくは次回開催に振替させていただきます。但し中止によって生じた、旅費、宿泊費や届出の遅れによる逸失利益など、参加者各位の損害については補償できません。ご同意のうえお申し込みください。

**2 DAYS** 好評につき今年も開催! **誤嚥性肺炎を予防するための実践講習会** 対象:歯科医師・歯科衛生士

摂食嚥下機能を理解し、高齢者の口腔機能管理ができる歯科医師・歯科衛生士を養成します。

**2023 6/11日** **事前講習及び相互実習**

●誤嚥性肺炎について  
 ●摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科の役割  
 ●摂食嚥下障害患者と口腔ケア ●摂食嚥下障害患者に適合する口腔内装置  
 ●口腔ケアに難渋する症例 ●口腔ケア手技の実際(実習込み)  
 ●多職種連携で取り組む口腔ケア ●多職種連携の仕組みづくり  
 ●口腔ケアアセスメントの重要性

講師(両日共) 松尾 浩一郎 東京医科歯科大学 地域・福祉口腔機能管理学分野教授  
 鴨田 勇司 鴨田歯科クリニック 歯学博士  
 大越 良夫 医療法人社団 彩雲会 松本歯科医院

**2023 7/9日** **介護施設にて実践演習**

●多職種連携とチーム医療における歯科の役割  
 ●施設患者への訓練 ●VE実習

会場 介護施設 社会福祉法人白鳩会 特別養護老人ホームさくらの里(埼玉県川口市大字峯 888-1)

時間(両日共) 10:00~16:00 9:30 受付開始

受講料(2日間)  
 歯科医師 ¥60,000  
 歯科衛生士 ¥40,000

**2023 6/25日** **医科歯科連携の重要性** 会場/オンライン開催

御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター 1階 ROOM A

参加費用  
 医師/歯科医師 10,000円  
 看護師/歯科衛生士/その他 5,000円

参加をご希望の方は、iDiホームページよりお申し込みください。  
<https://www.identali.or.jp/>

研修会についてのお問い合わせ 実践講習会についてのお申し込み **03-5842-5540**

お預かりした個人情報は、本研修会の運営並びにiDiから参加者への情報提供以外の目的には使用いたしません

**On the Cover [今号の表紙写真]**  
 日本の橋「宇治橋」(三重県)  
 伊勢神宮内宮への入口、五十鈴川にかかる「宇治橋」は神域(神苑)への架け橋。全長101.8m、幅8.4mの檜づくりの和橋(橋脚は檜)で、欄干の上には16個の擬宝珠が据えられ、別名「御裳濯橋」(みもすそばし)とも呼ばれる。式年遷宮と同様に20年毎に架け替えられ、橋の架け替えは遷宮の4年前に行なわれる。現在の宇治橋は2009年につくられ、橋の内外に立つ大鳥居の高さは7.44mとなっている。

iDi info 2023冬号  
 企画・発行:特定非営利活動法人 歯科医療情報推進機構 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24-17ネクストビル403  
 編集:庄司信晴(PAL)・松井英樹(PAL)  
 撮影:小林伸  
 デザイン:上野はじめ  
 Copyright © 2023 iDi All Rights Reserved.  
 ●本紙掲載記事の無断転載を禁じます。

# iDi 歯科医療情報推進機構とは?

歯科医療の安全の確保と質の向上を目指し、国民の健康と福祉に寄与することを目的として2005年に設立された、**歯科医院を審査・認証する、日本初となる「第三者評価機関」**です。

**理念** 患者さんから「私にとって、かけがえのない歯医者さん」と呼んでもらえる歯科医院をめざして

**目的**

- 評価基準に基づき第三者機関として歯科医院の機能評価を公正に行なう。
- 機能評価において一定の水準を満たしていると評価・認定された歯科医院を「患者さんに選ばれる歯科医院」として情報発信する。
- 安心・安全で適切な歯科医療情報を広く国民に提供する。
- 歯科医院は、第三者に評価されることによって機能や診療、患者サービスの質を客観的に把握でき、従業員の自覚と意欲のさらなる向上を図ってもらう。

**iDi 認証マーク**

診療内容 Examination  
 改善環境 Improvement Environment  
 管理環境 Management Environment  
 運営環境 Administration Environment  
 人的環境 Human Environment  
 オフィス環境 Office Environment

**ISM(インプラントセーフティマーク)**

医療安全管理基準  
 患者中心の治療基準  
 診療の質基準  
 総合的マネジメント基準  
 感染対策管理基準

「インプラントセーフティマーク」は、安心・安全なインプラント治療を受けられる歯科医療機関として広く国民に訴求するための標章です。

法人概要 **iDi Institute of Dental Information** 特定非営利活動法人 **歯科医療情報推進機構**

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24-17ネクストビル403 理事長 鴨井久一 日本歯科大学名誉教授

<https://www.identali.or.jp> TEL 03-5842-5540 FAX 03-5842-5541 設立:2005年3月10日

## 「在宅療養支援歯科診療に関する総合的研修会」「歯科医療安全に関する総合的研修会」を開催しました。

2022年11月6日(日)、東京・御茶ノ水ソラシティにおきましてiDi研修会を現地とオンライン配信のハイブリッドで開催。オンラインということもあり、全国の多くの方々に閲覧していただきました。iDiでは、今後も様々な研修会・講習会を開催してまいります。是非、ご参加ください。

**【歯援診・か強診】** 「高齢者の心身の特性」「口腔機能の管理」「緊急時対応」「歯科疾患の重症化予防に資する継続管理」  
 講師:森戸 光彦 鶴見大学 名誉教授

**【外来環】** 「偶発症に対する緊急時の対応」「医療事故に対する対策・対応」  
 講師:福田 謙一 東京歯科大学 口腔健康科学講座 教授

**【歯初診】** 「歯科外来診療の院内感染防止対策」  
 講師:泉福 英信 日本大学松戸歯学部 感染免疫学講座 教授

Lee®

WORK WEAR

MEDICAL

REAL  
AMERICAN  
WORKWEAR

「Lee®」から誕生した新しいメディカルウェア

Lee®

WORK WEAR

MEDICAL

すぐに見られる  
WEBカタログは  
こちら!

無料カタログも  
配布中!



BONMAX  
www.bonmax.co.jp

リーメディカル



銀イオン  
除菌液付き

Ag<sup>+</sup>

nanozilla

ナノ・ジューラ

これからの除菌作業は  
もっとカンタンに

抗  
ウイルス

除菌

抗菌



噴射モードの場合



噴霧モードの場合



ドアノブ ユニット 白衣 など  
接触頻度の高い部分を中心に  
ワンポイント除菌&抗菌



待合室 診察室 トイレ など  
置いておくだけで1部屋2~3時間  
でミストが隅々まで行きわたる

99.9%<sup>※1</sup>  
除菌

24時間  
抗菌

防カビ&  
消臭

素材を傷めない

成分臭ゼロ

安全性検証試験済み

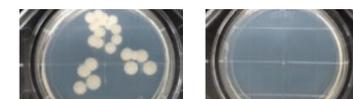
付属の専用除菌液は銀イオンを主成分として作られており、ナノ・ジューラと組み合わせることで効果を発揮します。細菌やウイルスに対し、99.9%<sup>(※1)</sup>以上の高い除菌力を1日1回の噴霧で24時間持続するので作業の簡素化も実現します。

※全ての菌・ウイルスに効果があるわけではありません

※1 本結果は一定の条件下で行われた試験結果であり、使用状況により効果が異なる場合がございます。

nanozilla 専用液の持続性

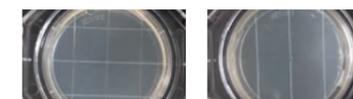
Ag<sup>+</sup>



スプレー前



1分後



1時間後



24時間後



nanozilla スターターキット

専用銀イオン除菌液5L付き 24,200円(税込)

WEBから購入できます  
詳しくはこちら ▶▶▶▶

nanozilla



〒869-1102  
熊本県菊池郡菊陽町原水2849-1  
商品に関するお問合せ: 096-342-1081

公式ホームページ: <https://pikasshu.jp/>